

かがやき

<http://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp/>

病院広報誌

Vol.40

2020 春号



感染症学教室

**「市民向け感染予防ハンドブック」を
発刊しました**

消化器内科

**肝がんにならないために
—新薬によるC型肝炎治療—**

事務部

文書受付、入院支援室*

(*入院受付、入院説明、お薬確認コーナー、入院セットレンタル受付)

が移設しました

ご自由に
お持ちください
TAKE FREE

「市民向け感染予防ハンドブック」を 発刊しました

中華人民共和国湖北省武漢市において、昨年、令和元年（2019年）12月、原因となる病原体が特定されていない肺炎の発生が複数報告されました。現在、日本を含む200カ国以上から70万人をこえる感染者が報告されていますが、そのほとんどは、人から人への感染によるものと考えられています。

皆様が感染症予防について正しく理解した上で安心して生活していただくことを目標に、このハンドブックを作成しました。ご家庭での新型コロナウイルス感染症を含む呼吸器感染症予防の一助としていただければ幸いです。

尚、本ハンドブックは、令和2（2020）年3月15日現在の情報を元に作成しており、今後、最新の情報に沿い変更することがあります。



「新型コロナウイルス感染症 ～市民向け感染予防ハンドブック」は、
東北医科薬科大学病院ホームページより、ご自身の端末にPDFデータで
ダウンロードできます。

また、ご自身の端末にPDFデータをダウンロードできない方は、
YouTubeで動画を公開しておりますので、ぜひご覧ください。

ケータイ・スマホの方は
こちらからもアクセス！

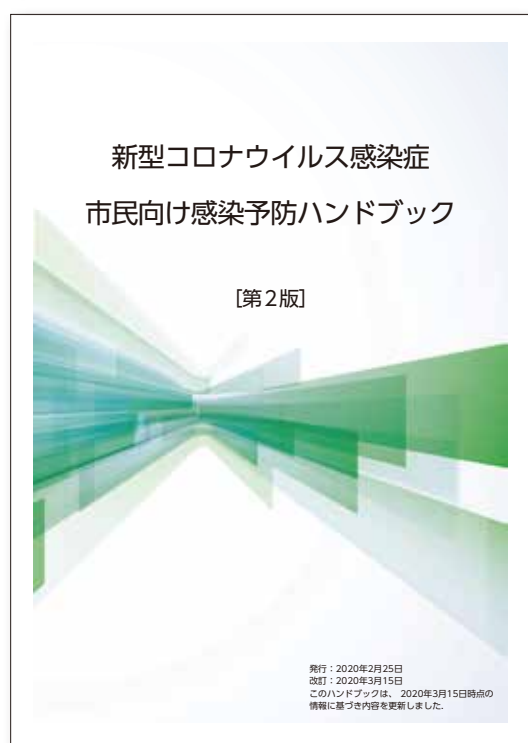
PDFデータ
ダウンロード紹介ページ

[http://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp/
info/information/2326/](http://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp/info/information/2326/)



YouTube 動画
視聴紹介ページ

[http://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp/
info/information/2339/](http://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp/info/information/2339/)



監修：賀来 満夫（東北医科薬科大学医学部特任教授・東北大学名誉教授）
作成：東北医科薬科大学病院感染制御部
東北大学大学院医学系研究科総合感染症学分野
仙台東部地区感染対策チーム

【ご利用の注意事項】

- ※印刷・配布等の活用をして頂いて問題ございません。ご利用の際は出典名を明記してください。
- ※ハンドブックの内容を改変、追記、一部引用、翻訳、商用利用（課金目的での動画含む）等は禁止とさせていただきます。
- ※ハンドブックに関しまして、電話・メール等によるお問い合わせには対応できません。

尚、当院から本ハンドブックを紙面で配布する予定はございません。ご理解、ご了承をお願いいたします。

皆様の感染予防に際して、本ハンドブックが少しでもお役に立てることを願っております。

感染症学教室 特任教授
賀来 満夫



肝がんにならないために —新薬によるC型肝炎治療—

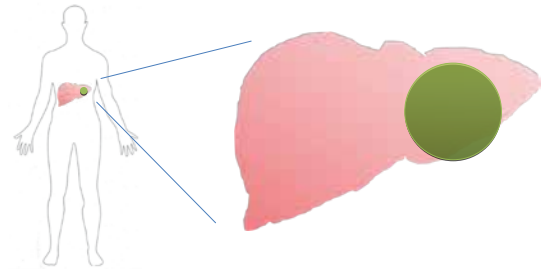
消化器内科
小暮 高之



沈黙の臓器にいつのまにか肝がんができる

肝がんは、年間に約3万人が亡くなる重大な病気です。肝臓病が進んで肝臓が硬くなってしまった患者さんに肝がんがしやすいことが解っています。肝臓は沈黙の臓器といわれ、肝がんができて症状はありません。肝がんを防ぐためには、慢性肝臓病を早い段階で発見して進行を食い止めることが重要です。

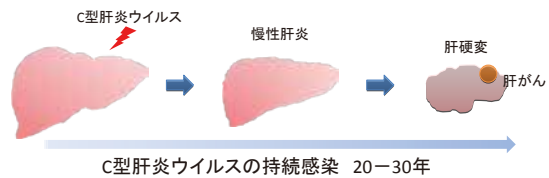
肝がん：肝臓の中にできたがん



肝がんの主な原因：C型肝炎

日本での肝がんの原因の多くはC型肝炎です。C型肝炎はなかなか治りにくい病気でしたが、ウイルスを体から排除する飲み薬が平成26（2014）年に発売されて以来、数十万人のC型肝炎の患者さんが完治しています。消化器内科では新薬を用いたC型肝炎を積極的に治療しています。飲み薬を最短で8週間内服するだけで、ほとんどすべての患者さんが完治します。しかしながら、まだ治療を受けていない患者さん、ウイルスに感染していることにすら気付いていない患者さんがまだ日本には相当数いることも分かっています。肝がんを防ぐためには、肝炎検査を受け、専門医を受診してもらうことが重要です。

肝がんの主な原因はC型肝炎



肝がんを防ぐために

肝がんの予防には、患者さんに正しい病気の知識を持っていただくことが重要です。当院では20人以上の肝炎医療コーディネーターが、肝臓病にまつわる悩みや疑問に対処すべく働いています。今後は広く一般の方にも肝臓病の情報を提供するために、肝臓病教室や市民公開講座の開催を予定しています。

文書受付、入院支援室*が移設しました

(*入院受付、入院説明、お薬確認コーナー、入院セットレンタル受付)

令和2（2020）年1月20日（月）より、「文書受付」、「入院支援室（入院受付、入院説明、お薬確認コーナー、入院セットレンタル受付）」の場所が移動となりました。利用される皆様におかれましては、お間違えのないようご注意願います。

本館1階



「文書受付」では、診断書・証明書等の作成依頼を承ります。

*** 入院支援室 ***

- 入院受付、入院説明では、予約入院の方の必要な手続きや入院生活等に関する説明を行います。
- お薬確認コーナーでは、患者さんが入院時に当院に持ち込むお薬を確認します。
- 入院セットレンタル受付では、入院時アメニティセット（1日定額）をご案内します。



事務部 事務員



INFORMATION

当院での企画や行事、最新情報をお伝えいたします！



東北楽天ゴールデンイーグルス様より車椅子を寄贈いただきました！

令和元年（2019年）12月12日（木）、株式会社楽天野球団様より「東北楽天ゴールデンイーグルスオリジナル車椅子」1台を寄贈いただきました。

これは「イーグルス ホームランチャリティー supported by SMBC日興証券」という取り組みの一環で、東北楽天ゴールデンイーグルスの選手が楽天生命パーク宮城でホームランを1本記録するごとに、東北エリアのこども病院や福祉施設に車椅子を1台寄贈されるという取り組みです。

昨季は対象となった2019シーズンの一軍公式戦30試合で25本のホームランが記録され、計25台の車椅子が東北各地の25施設に贈られることとなり、うち1台を当院に寄贈いただいた運びとなります。

寄贈いただいた車椅子は、車椅子を必要とされる皆様にご利用いただけるよう、有効活用して参ります。



タイの医療機関関係者が視察に訪れました！

令和2（2020）年1月15日（水）、タイ・バンコク都庁と医療機関関係者37名が福室キャンパスの視察に訪れました。

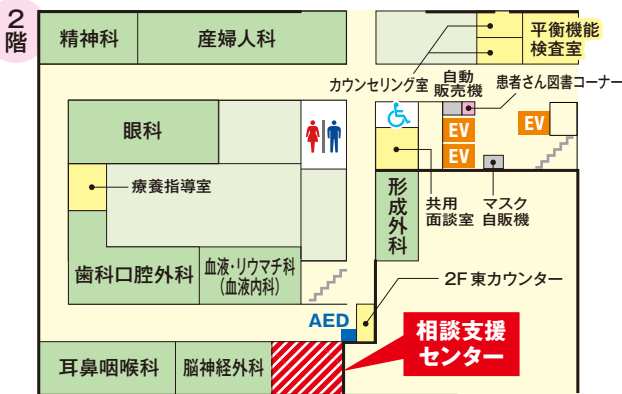
本視察は東北地方における医療イノベーションや先進技術、高齢者医療をテーマとした医療研修の一環で、宮城県庁アジアプロモーション課の仲介で計画されたものです。

2時間という短い時間での視察でしたが、東北地方で実際に医療を提供する本学の説明や上記の施設見学を通して、日本の医療・医学教育の現状について理解が深められ、満足された様子で視察は終了しました。



相談支援センター

当院では、医療費などの経済的なことや治療上のことなど、病気に関わるご不安やお悩みを少しでも和らげられるよう、相談窓口を設置しております。どこに相談したらいいのか分からないとお困りの際には、お気軽に下記までご相談ください。



- ◆日時：月～金曜日（祝日、年末年始を除く）
8:30～17:15
- ◆TEL：022-259-1221（代表）

ケータイ・スマホの方はこちらからもアクセス！



医学部生臨床実習ご協力のお願い

東北医科薬科大学病院および若林病院では、令和元年（2019年）10月より、本学医学部4年生による臨床実習が始まりました。

医学生は診療チーム・主治医の一員となり、指導医と一緒に診療に参加します。

医学生が診療行為を行う際には、指導医から患者さんに「同意書」の記載をお願いする場合がございます。

指導医は、患者さんの安心・安全を確保しつつ学生の指導を行うとともに、最善の医療を提供できるように、より一層努めてまいりますので、この臨床実習へのご理解ご協力をお願い申し上げます。

アンケートご協力のお願い

今後の「かがやき」制作の参考にさせていただきます。たくさんアンケートを実施しております。お手持ちのケータイ・スマホから右側のQRコードを読み込み、回答フォームに入力をお願いします。

